



平成 30 年 7 月 12 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、西村、林)

海遊館の生き物たちがベビーラッシュ ジェンツーペンギンの赤ちゃんが見頃を迎えています！

大阪市港区の海遊館では、平成 30 年 6 月 18 日（月）～6 月 19 日（火）にかけてジェンツーペンギンの赤ちゃんが合計 2 羽誕生しました。「南極大陸」水槽で公開中の赤ちゃんペンギンたちは、すくすく成長し、体重が生まれた時の約 10 倍以上に大きくなりました。愛くるしい姿と微笑ましい子育ての様子をご覧ください。かわいらしい赤ちゃんと子育ての様子をご覧ください、生命誕生のすばらしさを感じていただけたらと考えています。



ジェンツーペンギンの赤ちゃん（6 月 29 日撮影）

ペンギン担当の飼育員は毎朝、赤ちゃんの体重を測定し、成長と健康状態を観察しています。また先月生まれたミナミイワトビペンギン（2羽）とカリフォルニアアシカの赤ちゃん（2頭）も元気に育っており、海遊館の生き物たちはベビーラッシュを迎えています。

【取材のご案内】

「南極大陸」水槽では赤ちゃんペンギンの体重測定の様子を水槽内で撮影していただけます。ただし、スペースの都合上、撮影の際は人数の制限などがございます。予めご了承ください。取材ご希望の際は、事前にご連絡ください。

連絡先 海遊館広報チーム 06-6576-5529

【今回誕生したジェンツーペンギンの赤ちゃんについて】

	産卵日	孵化日	体重 (g)	
			孵化時	7月10日時点
①	5月10日	6月19日	88.0	1173
②	5月14日	6月18日	85.8	1463



ジェンツーペンギンの赤ちゃんの体重測定の様子
(6月22日撮影)

※海遊館で生まれ生育したジェンツーペンギンは、今回の2羽を加えて、合計18羽となりました。

【ジェンツーペンギンについて】 英名：Gentoo penguin 学名：*Pygoscelis papua*
ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約75cmになり、小魚、オキアミ、イカなどを食べる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産み、オスとメスが交代しながら温める。産卵後35~40日で孵化し、オスとメスが協力しながら子育てを行う。

【参考写真】



ミナミイワトビペンギンの親子 (7月3日撮影)



カリフォルニアアシカの親子 (7月3日撮影)

【ミナミイワトビペンギン人工授精の結果について】

今季は4月末~5月初旬、葛西臨海水族園（東京都）で飼育しているミナミイワトビペンギンから採取し、液状または凍結保存の処理後に輸送した精子や、海遊館で飼育しているミナミイワトビペンギンから採取した精子を用いて、海遊館の計4羽のメスに対して人工授精を実施しました。得られた4個の有精卵から合計3羽の雛が誕生しました。今回、卵殻の内側に付着した血液を用いたDNA検査を行った結果、全て自然受精であることが判明しました。

今後も絶滅危惧種に指定されているミナミイワトビペンギンの保全に貢献することなどを目的に、精子の凍結保存や人工授精の技術確立を目指し研究に取り組んでいきます。

個体 (メス)	産卵日	孵化日	DNA 鑑定の結果 (父個体)
R301	5月12日	6月12日	自然受精 (同水槽、R302、10才)
R300	5月13日	6月13日	自然受精 (同水槽、R308、6才)
R203	5月14日	6月19日 (6月5日死亡)	自然受精 (同水槽、R307、9才)
R153	5月12日	孵化せず	自然受精 (同水槽、R306、9才)